

みはらふくし情報

2月号

令和2(2020)年
2月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

暦の上では大寒ですが、今年は暖冬ということで、寒さも比較的穏やかに感じますね。しかし、寒さが本格的になる2月です。インフルエンザなどにも十分気をつけてお過ごしください。

今号は、大和地域センターから子育てサロン「おはなし^{あい}愛らんど」の様子と、本郷地域センターから、北方地区社会福祉協議会の「住民福祉懇談会」の様子をお届けします。



地域 みんなで子育てできる場所に ～子育てサロン「おはなし^{あい}愛らんど」～

大和地域センター

大和町で活動されている子育てサロン『おはなし^{あい}愛らんど』は、平成15年3月に結成し、今年で約16年目となります。サロンの名前は、「地域の方みんなでお話ししながら楽しく子育てしましょう!」という思いで付けられました。

以前は、大和保健福祉センターで月1回程度開催していましたが、活動の見直しを期に、今年度より和木地域ふれあい交流センターの2階に場所を移し、毎週木曜日の10時30分から15時00分までと開催日を増やして活動しています。

和木地域ふれあい交流センターでは、第1・3木曜日に「お茶の間サロン」が開催されており、時には「お茶の間サロン」の季節行事等に参加したり、世代を超えた交流を図りながら、地域の方にも子育てのご協力を頂いています。



サロンでは、本物に触れて欲しいという活動者の思いから、こだわりの木製おもちゃを用意したり、絵本の読み語りやミュージックケアなど、様々なプログラムを取り入れています。今後は、子ども一人ひとりの特徴を活かす子育て方法の研修会や親子で参加できるイベントの開催も検討されています。

『おはなし^{あい}愛らんど』が、子育てに関わる全ての方にとっての「悩みや困り事を相談できる場」、「育児疲れが発散できる場」となり、またサロン名の由来のように「地域みんなでお話ししながら楽しく子育てできる場」となるよう、これからも活動を続けていきます。社協も地域や活動者の思いに寄り添いながら、子育て支援活動を応援していきます。



(支援者) 左 藤家さん 右 桂浦さん

レクリエーションによる人とのつながりを学ぼう！

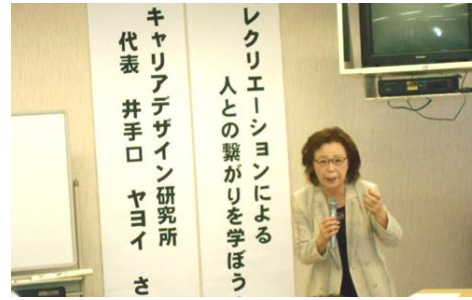
～北方地区社協『住民福祉懇談会』の開催～ 本郷地域センター

北方地区社会福祉協議会（以下北方地区社協という）では、サロン活動者や地域福祉推進員等を対象に、関係づくりと地域の福祉課題を考えることを目的とした『住民福祉懇談会』を毎年開催しています。

今年度は、キャリアデザイン研究所代表の井手口ヤヨイさんをお招きし、「レクリエーションによる人との繋がり」をテーマにした講演とグループワークを行い、19名の参加がありました。

講演では、参加者がペアを組み、指を突き合わせるレクリエーションを通して、「人は自然と相手を思いやりながら行動している。地域や近くに住む者同士、思いやりの心を持って欲しい」と話されました。また、サロン活動で取り組むことができる新聞のチラシを使った簡単に楽しめるもの、手の指を使った脳トレ、絵本の読み語りなどのレクリエーションも実践いただき、参加者から今後のサロン活動の参考になるとの声もいただきました。

社協は、懇談会でのご意見を踏まえ、今後も北方地区社協の思いや取り組みに寄り添いながら、安心して暮らせる地域づくりをすすめていきます。



～社明カルタ貸し出します～

社明（社会を明るくする運動）カルタを寄付いただきました。



大人向け1セット
子ども向け1セット

青少年の健全育成に向け、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための啓発を目的として作成されたカルタです。

社協では、無料で貸し出ししています。ぜひ活用ください。

お役立ち情報

感染症にご注意ください！！



令和元年12月19日に、インフルエンザ警報が発令され、県内において感染が広がっています。また「コロナウィルス」による新型肺炎の感染も報道されています。「コロナウィルス」による新型肺炎に関しては、まだまだ不明瞭なことが多いようです。引き続き厚生労働省等からの通達・情報発信に注意しながら、日頃からの感染症予防策に努めましょう。

感染予防対策の例

